

ひとが輝くまち

広報

ゆざ



YUZA Town Public Relations

平成30年 No.693

12



今月の話題

- 秋と言ったら、お祭りだよね! 2P
- 除雪にご協力をお願いします 4P
- ほか



秋といったらお祭りだよね!!

浦 第45回
吹 わくわく
フェスタ



瀬 第8回
高瀬
秋まつり

佐 西遊佐
西遊 ふれあい
祭り



川 フェスタ in
稲 いながわ
2018

佐 第8回
遊 まるっと
遊佐まつり



岡 第47回
蕨岡
大文化祭

高齢者等の雪かき・雪下ろしを支援します

雪かき応援事業

地域に居住する虚弱なお年寄りや心身に障がいのある方々が、冬期間の生活を安心して過ごせるよう、生活通路の確保を地域ぐるみで行うことを支援する事業です。

●利用登録申請（民生児童委員が行います）／要応援世帯は町内に住所のある人で、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯、身体障がい者世帯その他応援が必要と認められる世帯。

雪かき協力者等については、近隣の協力者等を民生児童委員や区長の皆さまより声掛けしてもらい登録していただきます。なお登録しても、必ず利用者の希望に沿った雪かきができるとは限りません。

●昨年度に登録している方は、登録の必要はありません。新規の場合と協力者等の変更がある場合は、民生児童委員をとおして申請してください。

雪かき協力者からの実績報告に基づき、3月下旬に1シーズン10,000円を上限として奨励金を協力者にお支払いします。

雪下ろし支援事業

概ね65歳以上の単身世帯、高齢者の

みの世帯およびその他援助が必要と認められる高齢者がいる世帯で、虚弱、病弱等の理由により自ら住居の雪下ろしをすることが困難で、かつ、親類縁者等による援助も期待できない世帯が対象です。※生活保護を受けていない世帯に限りません。

●利用登録申請（原則本人ですが、区長の代理申請も可能です）／上記対象者で初めに登録を行ってもらいます。昨年度登録している方であっても申請する場合は、再度登録をしなければなりません。雪下ろしが必要となったときは、下記までお問い合わせください。自分で申請できない場合は区長が代理申請できますので、区長にお願いして申請するようにしてください。

●補助金額／雪下ろしに要した費用の2分の1以内で上限は24,000円です。（千円未満の額は切り捨てます。）雪下ろしの対象は住居のみです。車庫などは対象となりません。

●雪下ろし業者／町内の業者で労災保険等に加している業者など、一般的には町の指名競争入札制度に参加している業者のことです。

●☎健康福祉課福祉介護保険係
72-15884

除雪にご協力をお願いします

◆除雪の要請は区長をとおして

特に大雪の場合には、集落内の除雪に関して、個人から要請をされることがありますが、大変混乱しますので、区長を通じて地域生活課へ要請してください。

◆支障木の除去を

積雪により、木や枝が路上に垂れ下がり、除雪作業の支障になることがあります。支障木は早めに除去してください。

◆道路隣接構造物には目印を

道路に隣接する構造物に除雪車がぶつかってしまう恐れがあります。個人所有の道路隣接構造物には、旗を立てるなど、目印をつけましょう。

◆指定の排雪場所へ

自宅や小路に積もった雪の排雪場所を設置しますので、ご活用ください。

①サン・スポーツランド遊佐駐車場

②町民スポーツ広場東コート駐車場（国道7号脇）

③あぼん西浜前駐車場（国道345号脇）

◆路上駐車はやめましょう

路上駐車は除雪作業の障害になります。

◆吹雪で車が動けなくなったら

万が一、車を路上に放置して避難しなければならないときは、除雪や救助活動の妨げとならないように連絡先を書いたメモなどを車内に置き、車の鍵はつけたままにしておきましょう。

国道・県道の除雪について

国道・県道の除雪については、それぞれの道路管理者に連絡してください。

●国道7号／酒田国道維持出張所

☎34-2331（代表）

●県道・国道345号／庄内総合支庁道路計画課

☎0235-66-2111（代表）

●☎／地域生活課土木係 ☎72-3311（代表）

活動内容

ゆざ演劇研究会は、1970年（昭和45年）の設立で今年で48年目となります。年に一度、定期公演を行っており、平成に入ってから県民芸術祭にも参加しています。上演してきた作品は井上ひさし、つかこうへい、永井愛、野田秀樹など。さまざまなジャンルの作品にチャレンジし、最優秀賞、準大賞、優秀賞と数々の賞を受賞してきました。



2016年上演「まほろば」

私たちは素人社会人劇団なので、毎年作品に参加できる人数が大きく変わることがあり、それに応じて演じる作品を選んでいきます。現在の団員は20名ほどで、午後7時から

9時まで生涯学習センターで稽古を行っています。普段は週に一度の稽古ですが、公演を控えた時期になれば毎日。芝居好きの集まりで、稽古の後に食事（お酒？）をしながら意見を交わすのも楽しいひと時です。12月14日（金）、15日（土）には、生涯学習センターで定期公演「流れ星」を予定していますので、ぜひ見に来てくださいね。



今年の定期公演では「流れ星」を上演予定です。

会員は老若男女問わず、いつでも募集しております。舞台の上に立ってみたい、スタッフとして裏方をやってみたい、と思われる方ぜひご連絡ください。

● 問／ゆざ演劇研究会 本間 72-2018

鳥海山・飛島ジオパーク リレーコラム

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第48回》

ジオパークで地域の

産業振興をはかります

「魅力的な鳥海山・飛島ジオパークの認定商品「ぺろっと」」



宮城学院女子大学教授

宮原 育子 氏

今年度、鳥海山・飛島ジオパークでは、地域ならではの食の魅力を発信する商品を対象とした認定制度「ぺろっと」鳥海山・飛島「たのしくおいしいものがたり」をスタートさせました。9月から商工会関係者やアドバイザーなどが書類審査と試食を行った結果、33種類の食品が認定されました。乳製品や海産物の加工品、日本酒やワイン、焼酎、スイーツなどのほか、レストランで提供されるメニューも含まれています。どれも、上質で味も良く、作り手の思いが伝わる素晴らしい商品です。

鳥海山・飛島ジオパーク認定商品

「ぺろっと 鳥海山・飛島～たのしくおいしいものがたり～」は、地域ならではの食の魅力を発信する商品認定することで、ジオパークを楽しみ、ジオの恵みを活かした地域の産業振興をはかる取り組みです。

認定商品「ぺろっと」はこちらをご覧ください。
<https://chokaitobishima.com/product>

◀目印はこのマーク！



認定商品は、協議会のホームページで全国に紹介されています。これからは、ジオパークのさまざまな活動の中で、積極的に販売を進めていきます。地域の皆さんにも、鳥海山・飛島ジオパークの認定商品をお買い求めいただき、ジオパークを楽しみながら、ジオの恵みを活かした、地域の産業振興を進めていきましょう。

第17回遊佐町子育てフォーラム

未来にはばたく「いのち」輝く子どもの育成

11月11日(日)、生涯学習センターホールで第17回遊佐町子育てフォーラムが開催されました。フォーラムでは、小中学生による「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」「いじめ防止」の優秀標語作品を発表。意見発表では、「いのちの重み」藤原咲彩さん(遊佐中3年)、「総合学習を通して学んだこと」佐藤拓真さん(遊佐高3年)から発表をしていただきました。ま



作品については10ページでも紹介しています。



テレビでは語られないお話も。

た、事例発表では遊佐高等学校より地域と連携した教育の取り組みについて発表していただきました。

その後の講演では、「事件です!」リポーター阿部祐二が語る「ファミリー、子育て、仕事。」と題し、講師にリポーター・俳優・モデルとして活躍される阿部祐二氏を招待。阿部さんから、ご自身の経験をお話し、子育てや仕事・家庭への想いなど、テレビでは語られないことも交えながらお話ししていただきました。

自らの手で戦果をつかみ取れ! …第23回鮭のつかみどり大会

10月28日(日)、月光川河川公園で鮭のつかみどり大会が開催されました。今年の鮭も活きが良く、水しぶきを上げながら元気に泳ぎまわります。参加者の皆さんも負けじと鮭を追いかけて、大きな鮭を抱え、満面の笑みを浮かべていました。子どもから大人まで、雨も風もなんのその!



しっかり捕まえないと逃げられちゃうよ!

温泉で親睦も温める …第29回あぽん親睦の集い

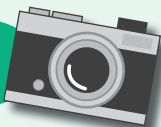
11月7日(水)、あぽん西浜で第29回あぽん親睦の集いが開催されました。この日は、あぽんの大広間を無料開放。主催である遊佐詩吟愛好会、清流会、ほほえみ会を始めた12の個人・団体が、歌謡や詩吟、舞踊などを披露しました。最後は参加者の皆さんと一緒に「北国の春」を合唱。この日のあぽん西浜では、身体だけではなく親睦も温められました。



最後はみんなで合唱して、親睦を深めました。

フォト トピックス

Photo
Topics



命がけでクロマツを育てた藤蔵親子



11月10日(土)、藤崎小学校で遊佐町四大祭の一つ『藤蔵祭』が行われました。例祭式の後には、藤崎小学校4年生による劇「命がけで クロマツを育てた 藤蔵親子」が発表されました。

練習の成果を全国でも発揮!



10月6日(土)、7日(日)に東京都池袋で開催された東京よさこいで、遊め組が企業賞(東武百貨店賞)を受賞されました。披露した演目は遊め組オリジナルの「四季爽爛」。皆さんも機会があればぜひご覧ください。

復興へ向けた力へ



10月19日(金)、遊佐町ゲートボール協会から平成30年北海道胆振東部地震災害に対しての義援金10,000円をいただきました。どうもありがとうございました。



シンポジウムに関連して、「小山崎縄文人の食卓」の展示も行われました。

10月20日(土)、遊楽里でシンポジウムが開催されました。今回のシンポジウムは『縄文時代の「遊佐ごつつお」と題し、ご講話いただきました。

小山崎遺跡は、鳥海山・日本海・牛渡川と豊かな自然に囲まれています。鳥海山の湧水に守られて出土する木の実や動物の骨は、小山崎で暮らしていた縄文人が、その立地を活かして豊富な食材を獲得・調理していたことを教えてくれます。私たちのごつつお(ごちそう)のルーツは、彼らの食卓にあったのかもしれない。

「遊佐ごつつお」のルーツをたどって
…シンポジウム 縄文時代の「遊佐ごつつお」



機運醸成のため、集落看板でもPRしました。

「遊佐の小正月行事(アマハゲ)」のユネスコ無形文化遺産登録に関する評価機関の勧告について

● 図 / 教育課文化係 72-5892
昨年3月にユネスコ無形文化遺産登録に向けて提案した「遊佐の小正月行事(アマハゲ)」を含む「来訪神・仮面・仮装の神々」について、無形文化遺産保護条約政府間委員会の評価機関から「記載」と勧告されたと、文化庁から発表がありました。この勧告を受け、11月26日(月)から12月1日(土)にかけてユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載に関する最終決定がなされます。今後の経過については、広報や町HPでお知らせしていきます。



まちかど

ホットライン

読者の広場

児童生徒の携行品に

かかる配慮について

…匿名希望

日ごろより、小中学生のかばんの重さが気になっていました。小中学生のかばんの実態をどの程度把握していますか。また、「置き勉」についてはどう考えていますか。「健康」あつての「学力」です。子どもたちのかばんの重さを軽減するために、対策をお願いします。

〔図〕児童生徒の携行品の重さや量への配慮については、従来からさまざまな取り組みを行っており、特に中学校においては、全教科で「学校に置いてよい学習用具」を明確にし、生徒に周知をしているところとです。通学時においても、

スクールバスや自転車等を使用しているもので、体への負担は心配するほどのものではないと考えております。

文部科学省では「児童生徒の携行品にかかる配慮について」の通知を行い、適切に対応するよう指導をしています。今のところ、当町においては保護者等から具体的に配慮を求める声などは寄せられておりませんが、適切に対応するよう町の校長会で指導しております。お気づきの点がございましたら、随時情報提供いただければと思います。

● 図／教育課総務学事係 ☎ 72-5891

楽しくバレー！ 自然体バレー塾in遊佐10

子どもたちや指導者を対象とした「自然体バレー塾」が10月20日



正しい身体の使い方、楽しくバレー！

(土)、町民体育館で開催されました。自然体バレー塾は今回で10回目。草野健次先生の「指導者が変わらなければ子どもは変わらない」という考えに共感し、多くの指導者や子どもたちが参加されました。この日は身体のメカニズムに即した動きを身に付ける指導の下、楽しく・笑顔でバレーボール技術の向上に取り組みしました。

お絵かきだいすき！
くまくんといっしょにはみがき！

第16回「つちだよしはお絵かきコンクール」にて、応募総数252作品の中から遊佐保育園の滝陽菜乃さん(4歳)と丸山陽愛さん(4歳)の作品が入選しました。二人は土田義晴先生の絵本『はみがきシュッシュ』を題材に、元気に作品を描き上げました。入選、おめでとうございます。



入選した滝陽菜乃さん(右)と丸山陽愛さん(左)

まち協インフォメーション

吹浦 3つの年代 多彩なステージ

11月3、4日に開催された秋のセンター祭、吹浦地区『わくわくフェスタ』。1日目のステージには、なんと保育園・小学校・中学校と3つの年代が揃います。遊佐中学校吹奏楽部の華やかな演奏からスタートし、次に吹浦保育園児達のかわいらしいお遊戯。最後は吹浦小6年生が

先輩方から代々受け継ぐ鳥海太鼓を披露。吹浦地区のフェスタは多彩なステージがお楽しみのひとつですが、この年代に応じて成長していく子供たちのステージが見られるのも、フェスタならではのお楽しみです。

● 図／吹浦地区まちづくり協議会 ☎ 77-2503

吹浦保育園



吹浦小6年鳥海太鼓



遊佐中学校吹奏楽部





菅原 怜央さん(千本柳)

Reo Surgawara
平成 10 年生まれ

我が家でもトップ下です。

■一言／

私は小学校3年生の頃からサッカーを続けていて、社会人になった今も地域のチームに参加してプレーしています。ポジションはトップ下。フォワードのすぐ後ろでアシストをしたり、自ら攻撃に出るポジションを担当しています。社会人サッカーはシーズンを通してリーグ戦が行われていますが、今は勝ち負けよりもみんなで楽しんでプレーをしています。

高校を出た後は東京で働いていたのですが、実家の仕事が忙しいということで、今年の9月に遊佐へ帰ってきました。実家は家業の他に農家もやっているの、田植えや稲刈りの時期は農業の手伝いもこなすトップ下として活躍したいです。

■町への要望／

遊佐には夜にごはんを食べられるところが無いので、紅四季(という台湾料理屋さんが昔ありました)のようなお店が欲しいです。



奥田シェフの軽妙なトークに、会場には笑顔があふれました。

めじか×シェフ×お寺 永泉寺でまるごといただく遊佐の秋

11月11日(日)、落状の永泉寺で「永泉寺でまるごといただく遊佐の秋」と題し、めじかを始めとした遊佐の食材をアル・ケッチャーノの奥田シェフより調理していただき、楽しめるイベントが開催さ

れました。遊佐町めじか地域振興協議会と釧龍山永泉寺が主催するこのイベントは、格式高いお寺でイタリアンシェフのライブクッキングが楽しめる、和とイタリアンが共演した面白い取り組み。この日は48名の参加者たちが、永泉寺の厳かな雰囲気と、旬をたっぷり味わえる奥田シェフの料理を堪能しました。

鈴木 のりたけ

絵本ライブ in 遊佐

11月3日(土・祝)、町立図書館で鈴木 のりたけ絵本ライブ in 遊佐が開催されました。この日は絵本作家の鈴木 のりたけ先生をお招きし、町内外から親子約50名が参加。絵

本製作秘話や絵描き歌、自由な表現を体感するワークショップ「ひょうげんのじゅう」などが行われ、参加した子どもたちと交流しながらの楽しいトークショーが繰り広げられました。「おもしろがると世界が広がる」「なんでもやってみよう」という鈴木先生のメッセージにあふれる2時間でした。



会場の皆さんと一緒に、新幹線の絵描き歌♪

遊佐の冬を乗り切ろう!「冬支度の会」

集落支援員だより

11月10日、布倉お試し住宅にて移住者交流会「冬支度の会」が開催されました。雪をあまり体験されなかった方もあるので、冬の生活を経験することが、移住者の方々にとっては遊佐町で暮らす第一歩と考えています。地吹雪?吹き溜まり?雪のけ?など、参加者にとっては初めて聞く言葉も多かったと思います。養生シート、保温シート、こたつのホースなどの紹介、水道凍結防止のお願い、雪道運転の注意事項や先輩移住者さんのアドバイスもあり、これらを参考に、遊佐の冬を乗り切ってもらいたいです。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所: A コープゆざ店2階)



冬に備えての便利グッズを紹介